

2022年度 事業報告書

2022年4月 1日から

2023年3月31日まで

学校法人 大阪聖心学院

1. 法人の概要

名称 学校法人 大阪聖心学院（昭和30年12月16日法人設立）
代表者 理事長 小林 都代
住所 大阪府松原市一津屋6丁目12番5号
電話 072-336-9981
FAX 072-337-1021

設置する学校及び保育所

住所 大阪府松原市一津屋6丁目12番5号
名称 星の光幼稚園
住所 大阪市旭区新森3丁目3番35号
名称 新森幼稚園
住所 大阪府松原市一津屋6丁目12番5号
名称 カンガルールーム

役員

理事 5名 任期 令和3年8月26日～令和7年8月25日
小林 都代 (第6条第1項第1号)
監事 2名 任期 令和3年8月26日～令和7年8月25日
評議員 11名 任期 令和3年8月26日～令和7年8月25日
理事会 2回開催
評議員会 2回開催
職員 53名(星の光幼稚園)
33名(新森幼稚園)
9名(カンガルールーム)

2. 事業の概要

(星の光幼稚園)

《教育方針》

物事を自ら考え創意工夫する力、心身のバランス、やさしい心を柱とする。

《教育内容》

毎朝、裸になって外で乾布摩擦、園庭で元気に遊び、お部屋の中では絵本を読んだり、製作をしたり、椅子にもしっか座って保育します。年少組から全員ギルフォード式の英才教育を行い実績を上げています。遊びの中で楽しく学んでいく保育です。

お茶、お花、そろばん、パソコン、書道、剣道、外国語、絵画、鼓笛隊、器楽合奏、日本太鼓（一部有料）などの保育時間内に特別活動を実施

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			9	190	6	200	6	200	21	590
2021年度	2	59	7	151	5	152	5	154	19	516
2022年度	2	57	6	138	5	149	5	150	18	494
2023年度	2	52	5	119	5	138	5	149	17	458

《保育時間》

月～金曜日 午前10時～午後2時20分

《納付金》

保育料（3歳児） 年額428,400円（無償化分含む）

（4・5歳児）年額380,400円（無償化分含む）

教材費（全園児） 月額1,000円

《入園時の費用》

入園料（3歳児） 65,000円

（4・5歳児） 55,000円

入園検定料 2,000円

バス申込金（利用者のみ） 6,000円

《預かり保育》

愛和苑（月～金曜日）/午後2時30分～午後6時

スポット保育/午後2時30分～午後6時（1,000円/回）

早朝保育/午前7時～午前10時

夕焼け保育/午後4時30分～午後6時

夏期保育/午前10時～午後3時

年末年始年度末/午前8時～午後5時 就労証明書が必要

《行事予定》

春の遠足、日曜参観、青空遊び、プール、お泊り保育、音楽会、盆踊り、敬老参観、

秋の遠足、運動会、お店屋さんごっこ、社会見学、お遊戯会、クリスマス会、おもち

つき、展覧会、消防クラブパレード

《施設関係》

園地面積 8,295㎡、運動場面積 3,481.2㎡

《設備関係》

プロジェクター、デジタル身長体重計等取得。園児用机・椅子、プロジェクター除却。

（新森幼稚園）

《教育方針》

明るく健康で心身共たくましく、自主的にかつ創意工夫する、人間味豊かな人間像を目指す。

《教育内容》

年齢、発達に応じた偏りのないバランスのとれた保育内容で、毎日いろいろな経験を重ねながら、一人ひとりの個性を大切に育てる。

《園児数》

	満3歳児		3歳児		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員			3	80	3	100	3	100	9	280
2021年度		12	3	63	3	76	3	98	9	249
2022年度	1	23	3	75	2	63	3	76	9	237
2023年度	1	21	2	57	3	75	2	64	8	217

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時30分

《納付金》

保育料（3歳児） 年額372,000円（無償化分含む）

（4・5歳児）年額338,400円（無償化分含む）

教材費（全園児） 月額1,000円

《入園時の費用》

入園料（3歳児） 60,000円

（4・5歳児） 55,000円

入園検定料 3,000円

バス申込金（利用者のみ） 6,000円

《預かり保育》

愛和苑（月～金曜日）/午後2時30分～午後5時30分

スポット保育/午後2時30分～午後5時30分（1,000円/日）

夕焼け保育/午後5時30分～午後6時30分

夏期保育/午前10時～午後3時

年末年始年度末/午前8時30分～午後5時30分 就労証明書が必要

《行事予定》

春の親子遠足、日曜参観日、社会見学、お泊り保育、盆踊り大会、夏祭り（お店屋さんごっこ）、敬老会、運動会、秋の遠足（おいも堀・みかん狩り）、発表会、おもちつき大会、クリスマス会、かるた大会、凧あげ大会、展覧会

《施設関係》

園地面積 1,367.30㎡、運動場面積 884.47㎡

《設備関係》

パソコン2台取得。園児用机・椅子除却。

（カンガルールーム）

《園児数》

定員19人	0歳児	1歳児	2歳児	園児数計
	園児数	園児数	園児数	
2021年度	1	6	12	19
2022年度	1	6	12	19
2023年度	1	6	12	19

《職員構成》

園長	1名
主任保育士	1名
保育士	4名
事務員	1名

《事業報告》

わが国は、結婚しないと出産しにくい社会なので、新型コロナウイルスの影響による婚姻率（人口千人当たり件数、2015年～19年の平均4.9から、20年4.3、21年4.1）の低下、既婚女性の出産控え、未婚女性の希望子ども数が2人から1.58人を下回る状況になり、2022年の出生数は、79万9千人（日本人の確報ベースでは77万人）と超少子化が進んでいる。岸田総理大臣は、出生率を反転させるため従来と次元の異なる少子化対策の実現を表明し、4月に子ども家庭庁をスタートさせ、「こども未来戦略会議」を開催し、6月の骨太方針までに将来的なこども・子育て予算の倍増に向けた大枠を示す決意を改めて表明した。

一方、教職員採用が厳しい状況が続いているが、府内の養成校においては、募集定員を大幅に割り込み、学園存亡の危機を迎える状況となっているので、採用不安の解消は程遠い状況である。また、第211回国会において、私立学校法の改正が可決され、「執行と監視・監督の役割の明確化・分離」の考え方から、評議員・評議員会の権限強化の見直しが中心に寄付行為の全面改訂の手続きが予定されている。

平成27年4月より子ども子育て支援新制度がスタートしたが、移行が進み、令和5年4月では、6割近い園が新制度に移行し、160園が私学助成で事業の継続を予定しているが、当園は、引き続き私学助成園として運営する。収入を安定させるためにも、経常費補助金の配分基準の内容を十分に把握し、事務を効率化し確実に対応することとする。

自己評価については、確実に実施し公表しているが、その自己評価の内容を、学校関係者評価委員会で十分検討して頂き、別紙のとおり纏め公表に努めた。

財務面では、事業活動収支計算書より、星の光幼稚園では、教育活動収入計が339,119千円（対前年比 3.72%、352,208千円）、教育活動支出計373,156千円（対前年比2.15%、365,315千円）、教育活動収支差額 34,036千円（前年度 13,106千円）、教育活動収支差額比率 10.04%（前年度 3.72%）、経常収支差額比率 10.04%（前年度 3.72%）となった。

また、人件費比率（人件費 / 教育活動収入計 + 教育活動外収入計）は、57.77%（前年度52.75%）となり、前年度より上昇した。

新森幼稚園では、教育活動収入計が177,859千円（対前年比 8.77%、194,959千円）、教育活動支出計176,634千円（対前年比 3.46%、182,962千円）、教育活動収支差額1,224千円（前年度11,997千円）、教育活動収支差額比率0.69%（前年度6.15%）、経常収支差額比率 0.77%（前年度4.78%）となった。

また、人件費比率(人件費/教育活動収入計+教育活動外収入計)は、52.31%(前年度、49.69%)となり、前年度より上昇した。

カンガルールームでは、教育活動収入計が44,820円(対前年比5.66%、42,420千円)、教育活動支出計46,023千円(対前年比9.45%、50,827千円)、教育活動収支差額1,203千円(前年度8,407千円)、教育活動収支差額比率2.68%(前年度19.82%)、経常収支差額比率3.21%(前年度20.40%)となった。

また、人件費比率(人件費/教育活動収入計+教育活動外収入計)は、61.88%(前年度75.44%)となり、前年度より低下した。

学園全体では、経常収支差額36,838千円(前年度11,609千円)、経常収支差額比率6.56%(前年度1.94%)となった。翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金(第4号基本金)を有しているため、資金繰りは問題ない。

3. 財務状況